



# 2014年度第3四半期決算説明資料

2015年2月4日

## I. 2014年度第3四半期決算実績

---

・サマリー	3
・セグメント別内訳	4
・貸借対照表・主要財務指標・キャッシュ・フロー	5
・受注高・受注残高	6
・売上高	8
・営業利益	9

## II. 2014年度業績見通し

---

・サマリー	11
・セグメント別内訳	12

## III. 補足資料

---

補足資料	14-19
------	-------

# I . 2014年度第3四半期決算実績

# 第3四半期決算実績 サマリー

(単位:億円)

	'13-3Q累計	'14-3Q累計	増減
受注高	22,956	26,182	+3,226
売上高	22,627	26,833	+4,206
営業利益	(5.8%) 1,321	(6.4%) 1,716	+395
経常利益	(5.6%) 1,273	(7.0%) 1,882	+609
特別損益	84	△ 458	△ 542
純利益	(3.5%) 782	(2.7%) 711	△ 70

### 特別損益の内訳

客船事業関連損失	△398
事業構造改善費用	△ 59
計	△458

## ➤ 受注高

交通・輸送を中心に、エネルギー・環境、機械・設備システムで増加

## ➤ 売上高

M&Aの効果に加えて、在外グループ会社の決算期変更の影響などもあり  
エネルギー・環境、機械・設備システムを中心に増収

## ➤ 利益

営業利益：機械・設備システムを中心に増益

純利益：客船事業関連損失及び事業構造改善費用を特別損失に計上したことにより減益

# 第3四半期決算実績 セグメント別内訳

(単位:億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'13-3Q 累計	'14-3Q 累計	増減	'13-3Q 累計	'14-3Q 累計	増減	'13-3Q 累計	'14-3Q 累計	増減
エネルギー・環境	8,985	10,225	+1,239	8,280	10,274	+1,994	772	765	△ 6
交通・輸送	2,781	4,770	+1,989	3,223	3,769	+546	94	132	+38
防衛・宇宙	2,580	1,356	△ 1,224	2,879	3,157	+277	150	183	+32
機械・設備システム	8,085	9,284	+1,198	7,776	9,227	+1,450	347	612	+265
その他	1,356	1,476	+119	1,216	1,222	+6	87	89	+2
消去または共通	△ 833	△ 929	△ 95	△ 748	△ 817	△ 68	△ 129	△ 66	+63
合計	22,956	26,182	+3,226	22,627	26,833	+4,206	1,321	1,716	+395

## 貸借対照表

(単位:億円)

	'13年度末	'14-3Q末	増減
売上債権	11,889	10,995	△893
たな卸資産	11,509	13,771	+2,262
その他流動資産	8,410	9,442	+1,032
固定資産	11,015	11,321	+305
投資等	6,035	7,254	+1,219
<b>資産合計</b>	<b>48,860</b>	<b>52,785</b>	<b>+3,924</b>
買入債務	8,014	7,506	△507
前受金	5,674	5,792	+118
その他	7,854	7,870	+15
有利子負債	9,574	11,553	+1,978
純資産	17,742	20,062	+2,319
(うち自己資本)	(15,433)	(16,981)	(+1,547)
<b>負債・純資産合計</b>	<b>48,860</b>	<b>52,785</b>	<b>+3,924</b>

## 資産

-売上債権は、入金条件の改善や債権流動化の一層の加速等で債権回収を早期化  
 -たな卸資産は、事業規模拡大の影響等で増加傾向にあるが、資産圧縮の活動を継続

## 負債・純資産

-有利子負債は、コマーシャルペーパーの発行等により増加  
 -純資産は、利益の積み上がりなどにより増加

## 主要財務指標

	'13年度末	'14-3Q	増減
自己資本比率	31.6%	32.2%	+0.6pt
有利子負債残高 (単位:億円)	9,574	11,553	+1,978
D/Eレシオ	0.54	0.58	+0.04

## キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	'13-3Q 累計	'14-3Q 累計	増減
営業	282	△ 890	△ 1,173
投資	△ 1,393	△ 1,320	+73
フリー C/F	△ 1,111	△ 2,211	△ 1,099

-運転資金削減などの更なる資本効率と、収益力の向上により、キャッシュ・フローの改善を進める

(単位:億円)

	'13-3Q累計	'14-3Q累計	増減
受注高	22,956	26,182	+3,226

	'13年度末	'14-3Q末	増減
受注残高(※)	53,738	53,991	+253

※ ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない

## ➤ 市場動向

- アジア: ・中国の経済成長は緩やかに減速
- 欧 米: ・米国は景気回復が持続したが、欧州の回復ペースは低下  
・原油価格の下落によるロシアの経済悪化が顕著
- 国 内: ・緩やかな回復基調

## ➤ 当社グループの受注施策

事業規模5兆円の達成に向けて、M&Aのシナジーを拡大すると共に当社グループの総合力を発揮し、グローバルな受注活動を展開する

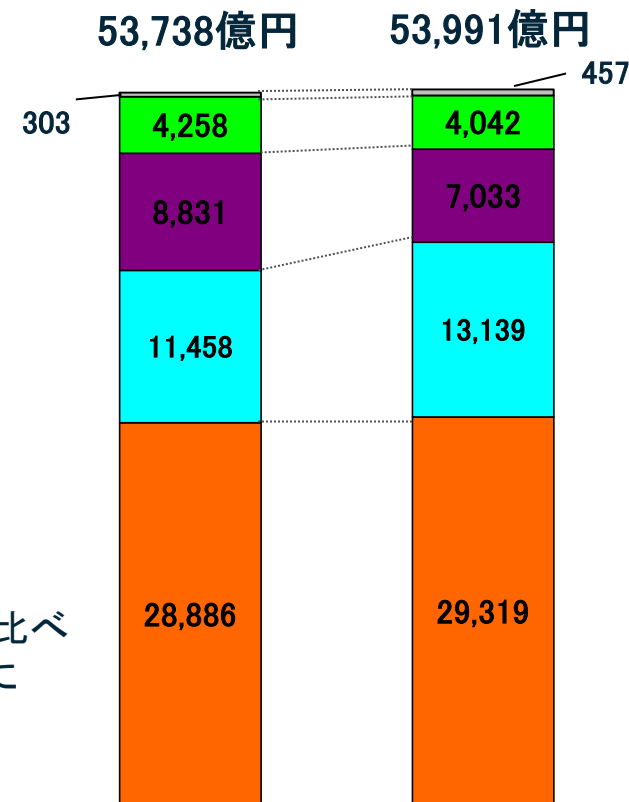
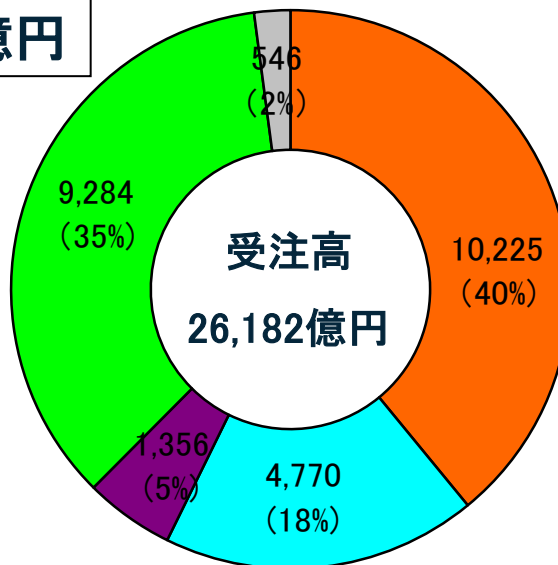
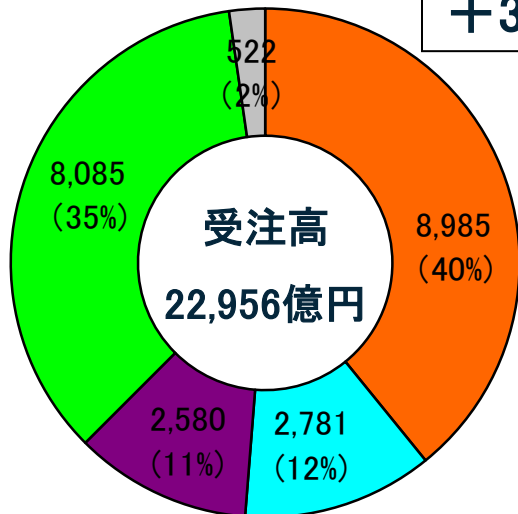
'13-3Q累計

'14-3Q累計

受注残高

+3,226億円

+253億円



'13年度末 '14-3Q末

※ ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない

- エネルギー・環境
- 交通・輸送
- 防衛・宇宙
- 機械・設備システム
- その他、消去・共通

➤ 防衛・宇宙

大型受注があった前年同期に比べ減少しているが、当年度計画に対しては堅調に推移

➤ 機械・設備システム

フォークリフト(事業統合効果)、ターボチャージャ(欧州、中国)、空調機(中国、欧州)等が増加

➤ エネルギー・環境

火力事業の統合効果により火力発電プラント等を中心に増加

➤ 交通・輸送

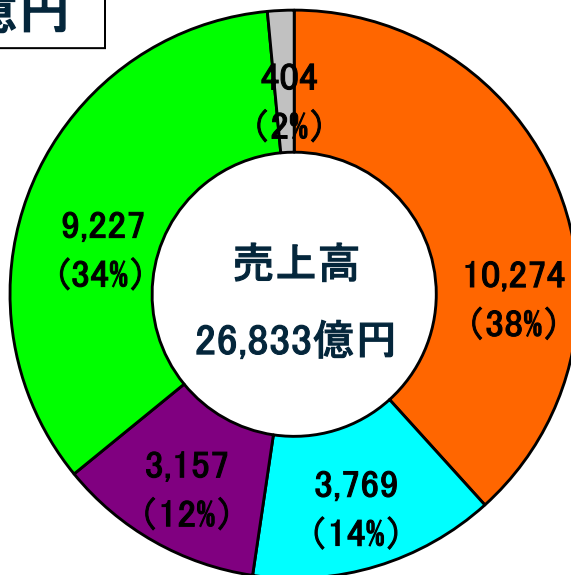
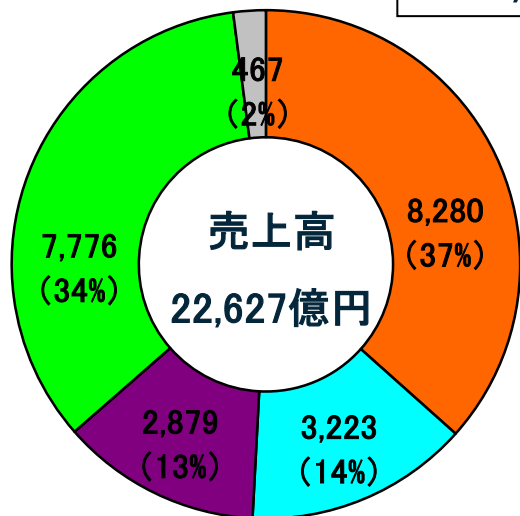
MRJ等の受注により増加



'13-3Q累計

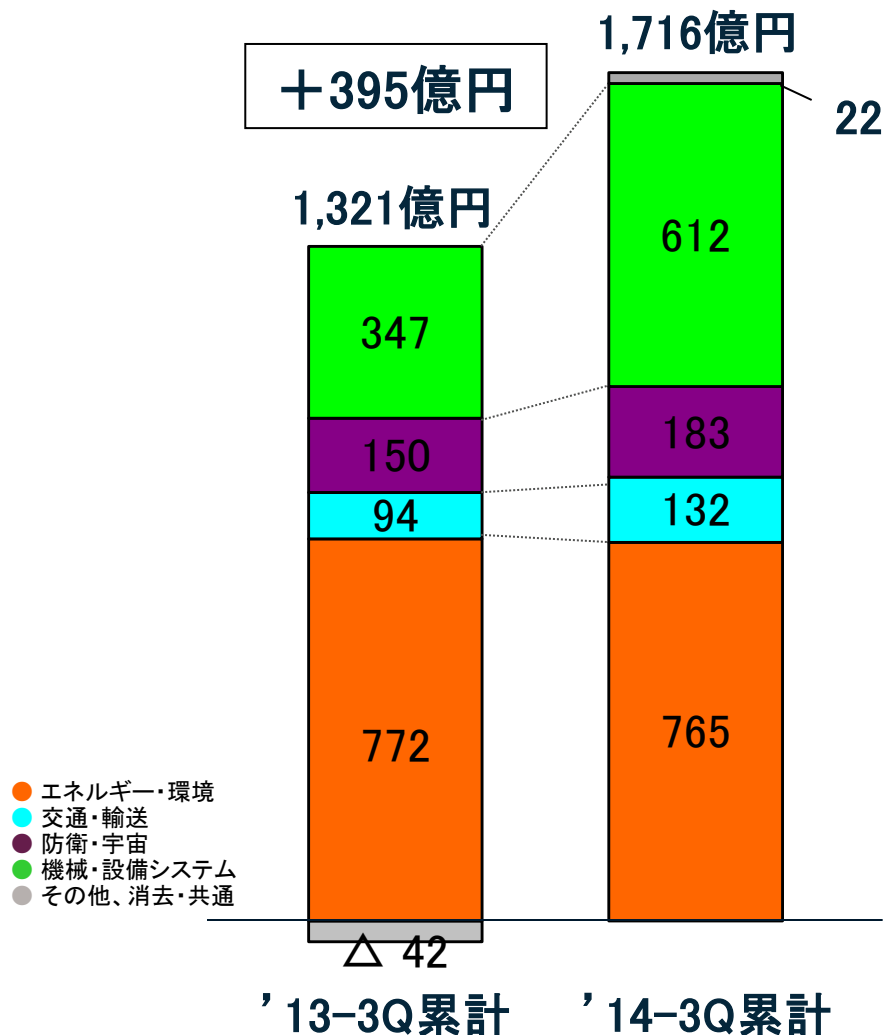
'14-3Q累計

+4,206億円



- エネルギー・環境
- 交通・輸送
- 防衛・宇宙
- 機械・設備システム
- その他、消去・共通

- **エネルギー・環境**  
火力事業の統合効果により大きく増収
- **交通・輸送**  
民間航空機、交通システムを中心に増収
- **防衛・宇宙**  
防衛航空機、宇宙を中心に増収
- **機械・設備システム**  
フォークリフト(事業統合効果)、ターボチャージャ(欧州、中国)、空調機(中国、欧州)等が大きく増収



- **エネルギー・環境**  
火力事業の統合効果やアフターサービス事業の伸長により増益の一方、火力プラント新設工事の採算差等により、ほぼ前年同期並み
- **交通・輸送**  
MRJの研究開発費が増加したものの民間航空機の生産効率改善等により増益
- **防衛・宇宙**  
宇宙等の売上増に伴い増益
- **機械・設備システム**  
ターボチャージャ、空調機、フォークリフト等の売上増に加え、コンプレッサの採算改善等により大幅増益

## Ⅱ. 2014年度業績見通し

---

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

(単位:億円)

	'13年度 実績	'14年度	増減		12事計
受注高	34,200	43,000	+8,799	+25.7%	40,000
売上高	33,495	40,000	+6,504	+19.4%	37,000
営業利益	2,061	2,600	+538	+26.1%	2,500
経常利益	1,831	2,300	+468	+25.6%	2,100
純利益	1,604	1,000	△ 604	△37.7%	1,300

【前提為替レート】

1ドル=105円

1ユーロ=135円

【未確定外貨】

5億ドル (期首:41億ドル)

3億ユーロ(期首:4億ユーロ)

➤ 前回公表値より、いずれも変更なし

➤ 受注高・売上高

近年のM&Aを原動力に約20%の成長を見込み、将来の事業規模5兆円に向けて順調に進捗中

➤ 営業利益・経常利益

12事計目標値を達成の見込み

➤ 純利益

客船事業関連損失(特別損失)の計上などにより12事計目標値は未達の見込み

# 2014年度業績見通し セグメント別内訳

(単位:億円)

	受注高			売上高			営業損益		
	'13年度実績	'14年度見通し	増減	'13年度実績	'14年度見通し	増減	'13年度実績	'14年度見通し	増減
エネルギー・環境	13,392	18,500	+5,107	12,539	17,000	+4,460	1,123	1,450	+326
交通・輸送	3,603	7,500	+3,896	4,636	5,000	+363	183	200	+16
防衛・宇宙	5,473	3,500	△ 1,973	4,694	4,500	△ 194	276	270	△ 6
機械・設備システム	11,065	12,500	+1,434	10,963	12,500	+1,536	516	780	+263
その他	1,835	2,000	+164	1,850	2,000	+149	146	100	△ 46
消去または共通	△ 1,169	△ 1,000	+169	△ 1,189	△ 1,000	+189	△ 184	△ 200	△ 15
合計	34,200	43,000	+8,799	33,495	40,000	+6,504	2,061	2,600	+538

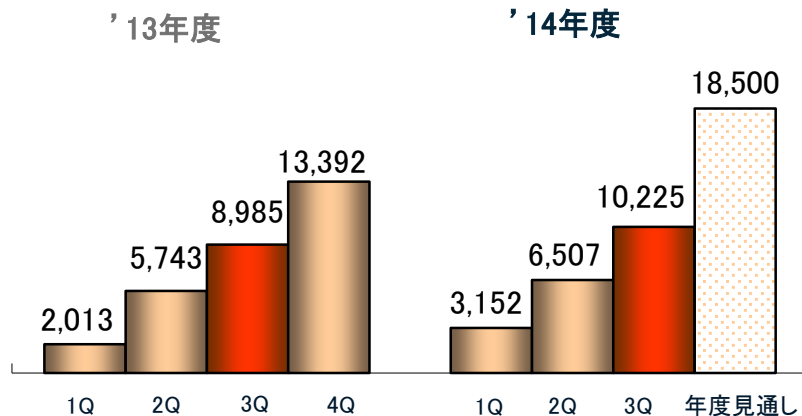
# Ⅲ. 補足資料

---

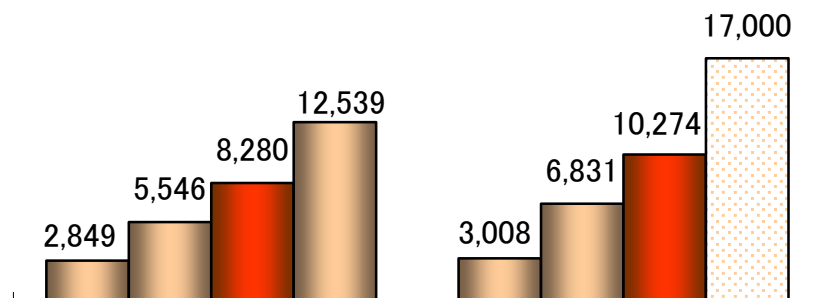
# 補足資料① 第3四半期決算実績 <エネルギー・環境>

(億円・各期の数値は累計)

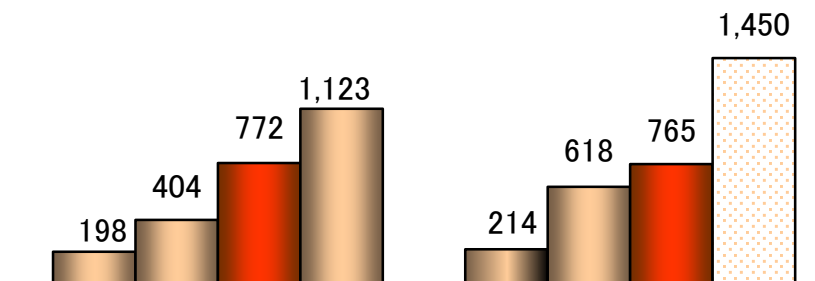
受注



売上



営業損益



**受注：対前年同期 +1,239億円の増加**

(株)日立製作所との火力事業の統合効果もあり、火力発電プラントの受注が増加したことにより、前年同期を上回った。

【ガスタービン受注台数】

'13-3Q累計：48台 (中小型の台数に日立分は含まない)

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	3	9	2	2	16
中小型	2	-	-	30	32
合計	5	9	2	32	48

'14-3Q累計：26台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	4	4	1	-	9
中小型	-	1	7	9	17
合計	4	5	8	9	26

【ガスタービン契約残台数】 ('13-3Q末の中小型の台数に日立分は含まない)

	大型	中小型	合計
'13-3Q末	46	34	80
'14-3Q末	39	37	76

**売上：対前年同期 +1,994億円の増収**

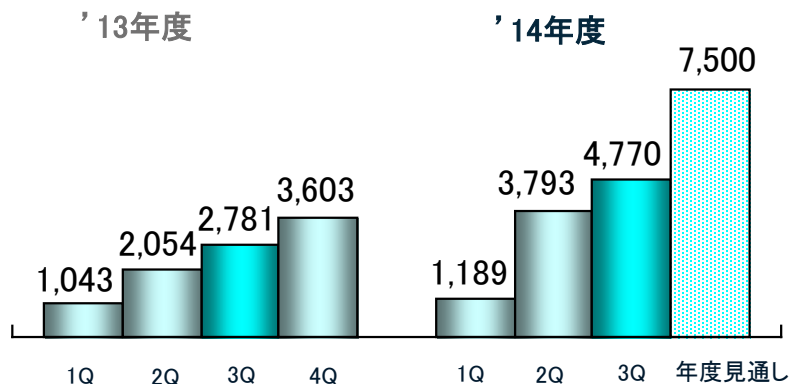
火力事業の統合効果により、前年同期を大きく上回った。

**損益：対前年同期 △6億円の減益**

火力事業の統合効果や、アフターサービス事業の伸長による増益がある一方で、火力発電プラント新設工事の採算差等により、ほぼ前年同期並みとなった。

(億円・各期の数値は累計)

受注



## 受注 : 対前年同期 +1,989億円の増加

MRJや交通システム等の大型案件を受注したことにより、前年同期を上回った。

### 【商船 受注隻数】

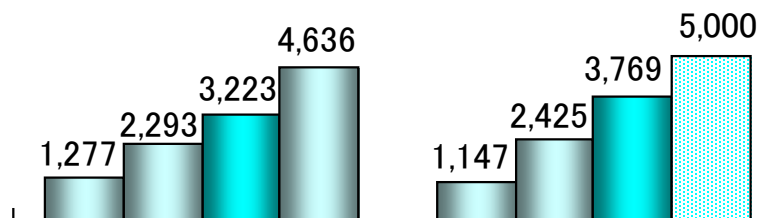
'13-3Q累計 : 4隻 (1Q:1隻、2Q:2隻、3Q:1隻、4Q:4隻)

'14-3Q累計 : 7隻 (1Q:3隻、2Q:3隻、3Q:1隻)

### 【商船 契約残隻数】 38隻

(LNG船 5隻、LPG船 6隻、フェリー/貨客船 6隻、巡視船 7隻 他)

売上



## 売上 : 対前年同期 +546億円の増収

民間航空機、交通システムを中心に増加し、前年同期を上回った。

### 【B777 引渡機数】

'13-3Q累計 : 75機 (1Q:25機、2Q:25機、3Q:25機、4Q:24機)

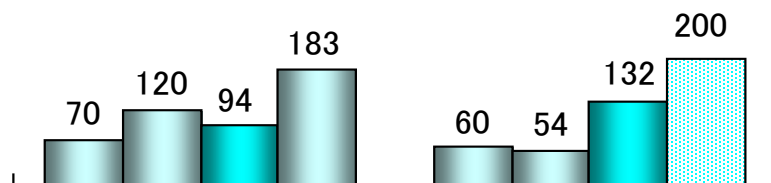
'14-3Q累計 : 76機 (1Q:26機、2Q:24機、3Q:26機)

### 【B787 引渡機数】

'13-3Q累計 : 49機 (1Q:16機、2Q:14機、3Q:19機、4Q:29機)

'14-3Q累計 : 90機 (1Q:32機、2Q:28機、3Q:30機)

営業損益



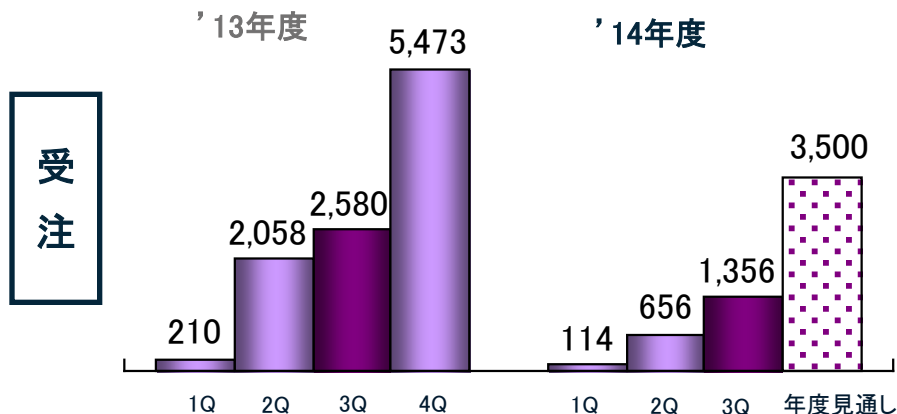
## 損益 : 対前年同期 +38億円の増益

MRJの研究開発費が増加したものの、民間航空機の生産効率改善等により、前年同期を上回った。



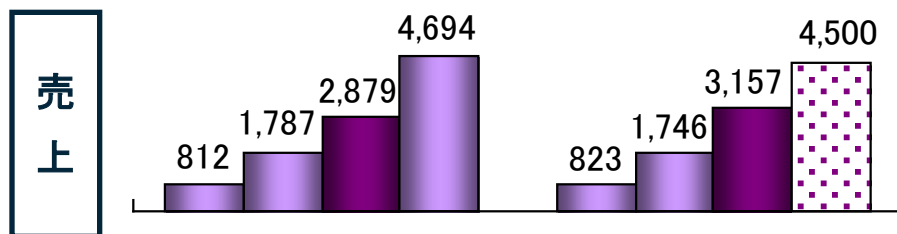
# 補足資料① 第3四半期決算実績 <防衛・宇宙>

(億円・各期の数値は累計)



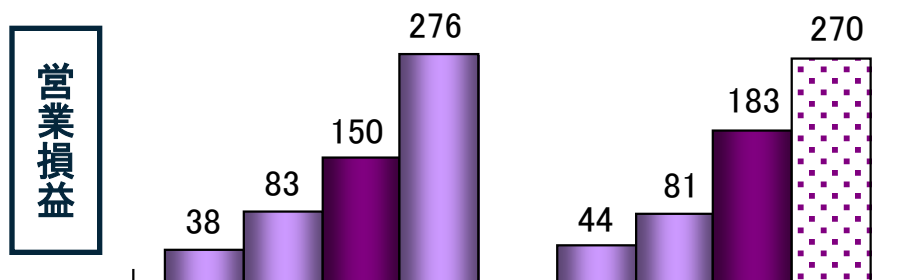
**受注 : 対前年同期  $\Delta$ 1,224億円の減少**

前年同期に大型受注のあった防衛航空機、艦艇等が減少したことにより、前年同期を下回った。



**売上 : 対前年同期 +277億円の増収**

防衛航空機、宇宙の増加により、前年同期を上回った。



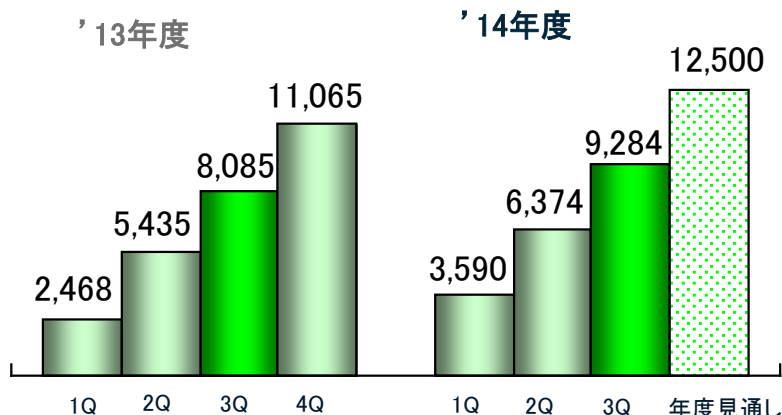
**損益 : 対前年同期 +32億円の増益**

宇宙等の売上増に伴い、前年同期を上回った。

# 補足資料① 第3四半期決算実績 <機械・設備システム>

(億円・各期の数値は累計)

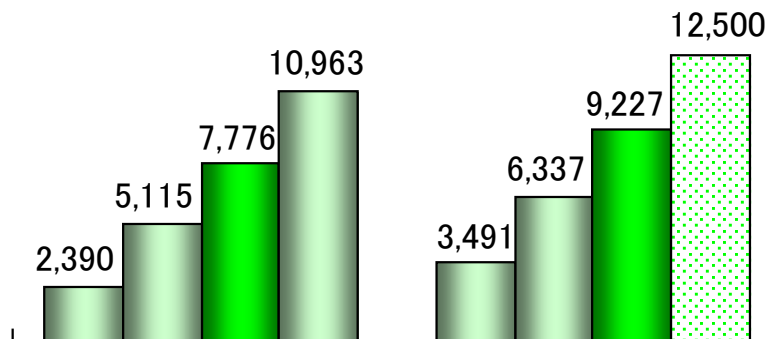
受注



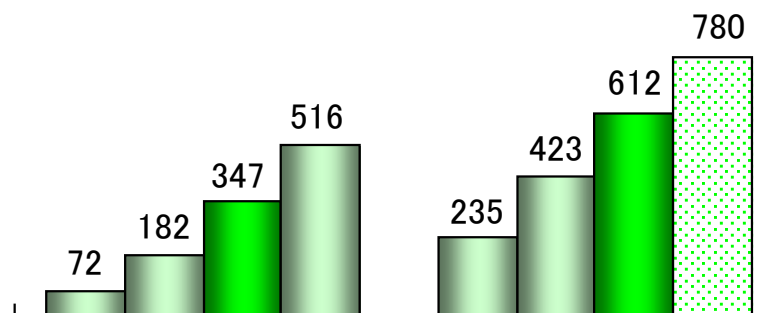
受注 : 対前年同期 +1,198億円の増加  
 売上 : 対前年同期 +1,450億円の増収

フォークリフトが事業統合効果により国内外で増加したほか、ターボチャージャ、空調機が欧州・中国向けで増加した。また、在外グループ会社の決算期変更影響などもあり、前年同期を上回った。

売上



営業損益



損益 : 対前年同期 +265億円の増益

ターボチャージャ、空調機、フォークリフト等の売上増に加え、コンプレッサの採算改善等により、前年同期を上回った。

## 1. 研究開発費・減価償却費・設備投資

	'13-3Q 累計	'14-3Q 累計
研究開発費	837	915
減価償却費	966	1,147
設備投資	1,125	1,064

(単位:億円)

'14年度 見通し
1,500
1,500
1,500

## 2. 販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	'13-3Q累計	'14-3Q累計
販管費	3,112	3,796

## 3. 為替レート

	'13-3Q累計	'14-3Q累計
USドル(円/USドル)	99.0	106.2
ユーロ(円/ユーロ)	130.4	141.2

## 4. 海外地域別売上高

(単位:億円)

	'13-3Q累計	'14-3Q累計
アジア	4,258 (19%)	4,957 (18%)
北米	3,898 (17%)	4,719 (18%)
欧州	2,020 (9%)	2,559 (10%)
中南米	673 (3%)	820 (3%)
中東	392 (2%)	903 (3%)
アフリカ	305 (1%)	612 (2%)
大洋州	154 (1%)	305 (1%)
合計	11,702 (52%)	14,877 (55%)

## 5. 所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		'13-3Q累計	'14-3Q累計
日本	売上高	19,419	21,220
	営業損益	1,198	1,420
北米	売上高	2,471	3,128
	営業損益	8	20
アジア	売上高	1,680	2,831
	営業損益	99	226
欧州	売上高	1,109	2,300
	営業損益	10	54
その他	売上高	178	335
	営業損益	5	△ 4
消去または共通	売上高	△ 2,231	△ 2,983
	営業損益	-	-
合計	売上高	22,627	26,833
	営業損益	1,321	1,716



この星に、たしかな未来を